

第10回 事業推進委員会・議事録

開催日 : 平成18年1月11日 (水) 午後5時から午後7時
場所 : 京都コンピュータ学院 京都駅前校 本館1階 インフォメーションルーム
メンバ : 委員長 総合システムサービス(株) 古川 峰生
委員 アド・プロヴィジョン(株) 河合 博康
委員 (株)京信システムサービス 竹内 清量(欠席)
委員 (株)ケーケーシー情報システム 小林 聡
委員 島津エス・ディー(株) 山本 孝
委員 竹菱電機(株) 木村 道也
委員 バンテック(株) 馬場 喜芳
委員 ワールドビジネスセンター(株) 山口 正純
委員 けいしんシステムリサーチ(株) 真行 栄一(欠席)
事務局長 京都電子計算(株) 駒井 一正
事務局長補佐 京都コンピュータ学院 和田 壽郎
事務局 奥村 良三

主たる議題 (議事進行は古川委員長が行う)

- 1 各委員会の活動状況と検討事項について
- 2 古川委員長よりの付議事項について
- 3 事務局報告・その他

1 各委員会の活動状況と検討事項について

1.1 経営委員会(木村委員長より) 下記「経営委員会活動報告資料」で報告。

「1 月度経営委員会活動報告」

. 12 月度の行事实績報告

第4回定例経営委員会

日時:平成17年12月15日(木)18:00~19:00 参加者:14名

場所:がんこ「三条本店」

議題:平成18年度経営委員会役員5名選出

- ・経営委員長 小島耕一郎(近畿財大)
- ・副委員長(情報交換広場担当) 棕田稔夫(ワールドビジネスセンター)
- ・副委員長(経営研究会担当) 中川 敦(京信システムサービス)
- ・副委員長(府民セミナー担当) 上田治文(京都情報大学院大学)
- ・書記長(定例委員会・景気短観担当) 相原義一(バンテック)

に決定。

平成18年度経営委員会事業計画立案

17年度同様に情報交換・経営研究会・府民セミナーを開催する。

(テーマ選定には会員各社よりのアンケートを元に要望の多い順に選定)

又、19年度経営研究会行事企画(助成金対象)検討をする為の事前調査を開始する。

尚、事前調査は定例委員会内で執り行う。

- ・定例委員会(年5回)並びに景気短観(年4回)は、

日時、5・8・11・12・2月第三木曜日午後17:00~19:00開催とする。

予算:¥100,000円

- ・情報交換広場(年2回)は、
日時、8・2月の定例委員会に合わせて開催する。
テーマは、「外注管理」「人事評価制度」の二案で検討する。
予算：¥150,000円
- ・経営研究会(年4回)は、
日時、6・7・9・11月開催する。(11月度は定例委員会日に合わず)
テーマは、「業界の経営指標比較」「税務調査の心構え」
「リスク・マネジメント」「外国人技術者の活用」の4案で検討する。
予算：¥300,000円
特別テーマとして府民・会員に役立つ実態調査を19年度執り行うための事前調査費
¥50,000円を計上する。

経営研究会総予算として¥350,000円を予算計上する。

- ・府民セミナー(年1回)は、
日時：5月(17年度事業報告総会時に併設して行う)開催する。
テーマは、「京都の時の人」「新発想のITビジネス」をテーマとした
講演を開催(助成金対象)する。
予算：¥300,000円
「各事業予算案」

	17年度計画	実績(見込み)	18年度案
委員会費	50,000	83,936 (167.8%)	100,000
情報交換広場	150,000	143,722 (95.8%)	150,000
経営研究会	300,000	253,112 (84.3%)	300,000
経営研究事前調査費	(新項目で経営研究会テーマ選定のための事前調査)		50,000
府民セミナー	300,000	199,537 (66.5%)	300,000
合計	800,000円	680,307円	900,000円

経営委員会会員増員施策並びに名簿確認

会員増：竹菱電機株式会社 情報通信システム営業部 部長 湯浅 重義 氏
減：株式会社ジーン・エス・エーソリューション 企画課長 喜田 謙 氏
変更：私ツツワトウエ株式会社 技術開発部長 井上 邦洋 氏 より
人事総務部長 永富 祐二 氏 へ

17年度残り行事予定

18年2月16日(木) ぱるるプラザ

- ・第5回定例委員会並びに第4回景気短観調査
「17年度行事総括」、「18年度行事確認」
- ・情報交換広場 [第二回]
「個人情報保護法施行後の各社の取り組み」

以上

1.2 「広報委員会(河合委員長より)」報告

2006年度広報委員会体制：

委員長：河合、副委員長：中島、各委員：廣瀬、伏見、荻野、横山、湯下

広報委員の増強(3名程度)を図り、よりきめの細かい委員会活動を目指す。

「広報委員会報告」 12月6日(火)17時開催

現在においては、それぞれ予定通り進行中。

18年度の事業計画は各委員と協議して概ねつぎのとおり考えている。

「京情協広報委員会平成18年度事業計画(案)」

(4) 府内情報産業の強化振興事業

京情協ニュース配信

【事務局】

情報関連のニュース、協会の動向を協会員に限定せず、希望者に配信します。
特に、IT関連の行政情報（研究助成・補助事業・その他）について、当協会が受け皿となつて情報産業界への浸透を図ります。

会員名簿発行

【広報委員会・事務局】

平成17年度の実績に基づく「平成18年度版会員名簿」を発行します。

その他本協会の目的を達成するために必要な事業

【趣旨】

本協会の主たる事業を補完する事業、また主たる事業に関連する事業、にも取り組み、協会事業範囲の硬直性を排除して柔軟に対応していくことも重要なことと考えます。

【目的】

当協会事業の実効性の向上を目的とします。

【事業】

【広報委員会・事務局】

インターネットWebサイトの効果アップ

初期Webサイトアップから5年が経過し、インターネット環境も含め大幅な変化がありました。この変化に対応するためWebサイトのリニューアルを行い、協会および会員企業を社会に広く知らしめます。

キーワード選定等を行いSEO対策にも注力し、大幅なアクセスアップを図ります。

会員企業の広報活動支援の一環として、会員企業を対象としてSEO対策の無料セミナーを開催します。

協会報『インターキョウト』の充実・発行

年間4回協会報を発行します。6月発行予定の総会号、新春号は6ページ立てとし、他は従来通り4ページとします。極力、会員企業の情報を掲載します。

配布先の定期的見直しを行い、効率のいい配布を行います。

事務局との連携強化による情報収集の迅速化と広報活動

京都府との連携及び京都商工会議所記者クラブにて、タイムリーなニュースリリースの提供などの広報活動を行ないます。

広報委員会 平成18年度事業計画 予算案

会員名簿作成	70000円
協会報インターキョウト30～33号	800000円
Webサイト保守・サーバ管理費	360000円
Webサイトリニューアル/SEO対策	680000円
会員企業を対象としてSEO対策無料セミナー（1回）	
明細：リニューアル費用＝470000円（極力会員企業からの要望を反映させますが、限度はあります）	
SEO対策費＝150000円（第2階層までの対策とします）	
内容：キーワードニーズ調査、キーワード現状順位調査、キーワード選定、キーワードディレクトリーマップ作成を行い、リニューアル時に最適なタイトル・紹介文をページ毎に設定し実装します。	
セミナー（テキスト資料作成費等）＝60000円	
委員会開催費	64000円（8000×8）
	合計1974000円
	以上

1.3 「技術委員会(山本委員長より)」～下記「技術委員会活動報告資料」で報告。

「技術委員会活動報告書」

1. 技術委員会開催状況

[予算：80,000、見込5,000]

4月～1月で10回技術委員会を開催し、平成17年度事業取り組みについての審議と推進を行ってきた。

2. 「SE研究会」開催について [予算 450,000、見込 435,000]
- 1) 各研究会(品質問題研究会、情報セキュリティ問題研究会、新技術利用&開発効率問題研究会)とも第4回目(最終回)を12月で終了した。
 - 2) 2月8日(水)の「成果発表会」に向けた“まとめ”を各研究会とも行っている。「成果発表会」開催案内を、本日(1/11)付けで会員各位へ配信した。
3. 「情報化フォーラム」開催について [予算 200,000、実績 114,025]
- 開催日時: 10月14日(金)
 開催場所: 平安会館
 講演: 「ケータイビジネスを取り巻く環境とモバイルソリューションの新展開」
 講師: (株)NTTドコモ関西 ソリューションビジネス部
 ソリューション技術部長 片山 龍夫 氏
- 参加者: 81名(会員47名、会員外34名)
4. 「技術セミナー」開催について [予算 200,000、見込 135,000]
- 開催日時: 2月10日(金) 15:30~17:00 予定
 開催場所: 平安会館 白河の間
 講演: 「ユニバーサル・コミュニケーション技術の将来イメージと推進方策」
 講師: 総務省 情報通信政策局 技術政策課 技術企画調整官 平 和昌 氏
 開催案内を会員各位・一般各位に明日(1/12)付けで配信する予定。
5. 平成18年度の技術委員会事業について
- 1) 平成18年度・技術委員会体制

委員長	島津エス・ディー	山本 (留任)
副委員長	中信コンピューターアンドコミュニケーション	三上 氏(留任)
副委員長	エイジシステム	谷岡 氏(新任)
副委員長	ムラテック情報システム	大濱 氏(新任)
 - 2) 平成18年度 事業計画・予算(案)
 - (1) 府民生活の向上に資する情報化促進事業
 - 情報化ホットライン事業(継続) < 予算: 50,000円 >
 - コンピュータ・ウイルス情報の広報(継続)
 - (2) 府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業
 - ・オープン技術セミナーの開催: 2月(継続) < 予算: 200,000円 >
 - (3) 社会の発展に伴う諸課題に対する情報通信技術の利活用に関する事業
 - ・情報化推進月間協賛・情報化フォーラム: 10月(継続)
 < 予算 200,000円 >
 - (4) 府内情報化産業の強化推進事業
 - ・「SE交流会」: キックオフ・セミナーと研究会&成果発表会(継続)
 < 予算 450,000円 >
 - (5) その他本協会の目的を達成するために必要な事業
 - ・「京都府情報産業協会における情報技術マップの作成」に関する調査(新規)
 < 予算 30,000円 >
 《 予算総額: 990,000円 》

以上

1.4 「地域情報化委員会(馬場委員長より)」

現在、18年度の委員長・副委員長など人事はまだ決まっていない。
 活動状況の報告がないので当委員会後提出された「活動報告書」を以下に貼付ける。
 なお、18年度事業計画(一次素案)の説明があった。

「平成17年度 地域情報化委員会 第三四半期活動報告」

1. 定例委員会(7回開催/年、予算3万円) 印は追記、変更されています。
 - ・委員会日程、委員、ワーキンググループ

H17/4/12	(火)	16:00~18:00	バンテック株式会社会議室	8名参加
H17/6/21	(火)	16:00~18:00	京情協 会議室	10名参加
H17/8/23	(火)	16:00~18:00	京情協 会議室	5名参加
H17/10/18	(火)	16:00~18:00	京情協 会議室	7名参加
H17/12/20	(火)	16:00~18:00	京情協 会議室	7名参加

2. 地域情報化委員会 事業計画

- ア) 府民情報化新春セミナー (中川委員) 予算 30 万円 (予算消化額 0 円)
 日時:平成 18 年 1 月 17 日 午後 4:00~5:30 開催(予定)
 場所:平安会館
 演題:「夢を翼に乗せて」~世界 NO.1 空港を目指す~
 講師:中部国際空港株式会社 専務取締役執行役員 廣地義範氏

3. WG 活動。(計画と経過報告)

ア) 京都府デジタル疎水(京都 ONE 含む) (古川委員)

- 1) 地上デジタル放送の動向に関するセミナー12/15 平安会館にて開催
- 2) 活用部会(第4回)協会からは古川委員参加 WGに馬場参加
 京都府「アクションプラン」について実施検討
 - ・地上デジタル放送活用した防災情報等提供サービス実証事業検討
 取組:総務省の地上デジタル放送公共パイロット事業を誘致実施
 - ・デジタル疎水を活用した放送再送信

イ) 産学公連携 担当:(馬場委員) 予算 3 万円 (予算消化額 19,700 円)

- 1) 学連携を活性化するために立命館大学との交流会の開催
 7/1(金)第2回アカデミックフォーラム開催 6社8名参加
 (立命館大学情報理工学部) 産学交流資料12社配付
- 2) 京都産業 21 京都試作プラットホーム事業ソフトウェアクラスター作りに
 事業推進委員会と共に協力。(クラスター構成期限 12 月目途)
 9/12PM3:00~同上に関わる説明会開催(京都産業 21 会議室にて)
 出席者:8社 クラスター京情協メンバー企業が複数クラスターの構成可。
 製造業他も含めたクラスター構成でも可。

【京情協の位置付】:

- ・京情協はクラスターづくりに協力はするが、仕事を受注することはしない。
 また、クラスター運営における責任は持たない。
- ・仕事受注はクラスターの責任企業とする。
 責任企業は仕事及びクラスター運営における責任は持つ。
 クラスター参加表明企業 13 社 クラスター作りに向けて京都産業 21 と
 情報交換しています、18 年 7 月を目途に方向性をきめる。

- 1) 大学シーズ、企業ニーズ、企業情報、製品案内書を作成、産学公連携促進に
 活用する。(今年度は調査を実施、来年度はガイドブック刊行)
- ・検討課題:a) シーズの陳腐化。b) ROM化効果有無。c) 実施可否も含めて検討。
 京都産業 21 と来年度事業を見越して交渉する。

ウ) 医療情報 関連会議予算 3 万円

1) どこカル・ネット (直江委員) 予算 2 万円 (予算消化額 2 万円)

- 総会,例会に参加 どこカル・ネットにかかる医療情報収集。
 どこカル・ネット事務局との不手際もあって情報交換が充分出来ていない。
 参加メリットも少なく 18 年度は参加しない。

2) 医療従事者の情報リテラシー調査・研究(増田委員) 予算 15 万円 (予算消化額 0 円)

医療従事者の情報リテラシーを向上、地域の情報化に貢献する。

- ・今年度はアンケート実施、調査資料を作成する。
 6 月:調査対象 医院、組合、団体のリストアップ。
 9 月:アンケート送付、回収。

10月～：アンケート先、訪問他 聞き取り

2月：調査書作成、来年度事業計画

エ) 他府県の情報産業団体との連携

(小林委員) 予算 10万円 (予算消化額 65,810円 帳簿: 33,850円)

(WG会議 6回開催/年) 必要により随時開催

【目的】IT関連の全国地域情報を収集し、協会の事業充実に寄与することを目的とする。本WGは他府県の情報団体が、特に地元の府県、市町村など、行政機関とどのような形で連携して、地域の情報化に参画、貢献しているのか、具体的な活動とその成果について調査を行い、京都の活性化に向けて当協会が果たす具体策を探ります。

5/17 第1回情報産業団体連携WG開催 ホテル京阪 3名参加

7/19 第2回情報産業団体連携WG開催 京情協会議室 4名参加

【交流団体】

7/21：高知県情報産業協会

7/22：高知県企画振興部情報企画課

8/25：岡山県企画振興部情報政策課、同産業労働部新産業推進課

(社)システムエンジニアリング岡山

9/15：(社)和歌山情報産業サービス協会

【日程、作業項目】

5月～9月：資料収集 10月～12月：整理 1月～3月：まとめ

オ) 観光交流空間づくりモデル事業の件

1) 協議会への参加 担当 河合委員 オブザー参加 島津SD山本氏

2) 議会開催 10月以降(京都市観光企画課より実施時連絡あり)

推進協議会への参加意向は示しているが今年度協議会開催は持たれない。

(特に進展なし)こちらの方からテーマ提案が必要、なければ進展しない。

4. 情報提供 地域情報化に関わる情報を随時提供した。

電子自治体ロードマップ

1) 2010年を目標とするu-JAPAN

2) 2015年の地域情報化

3) XMLによるデータ標準化

4) u-JAPAN政策パッケージと電子自治体

以上

「平成18年度事業計画(一次素案)」

地域情報化委員会 朱記 書き込みは地域情報化委員会 担当項目(案)です。

(1) 府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業

【趣旨】

京都府民、中小企業の日常活動において、他の専門分野の動向を知る機会には多くはありません。当協会は、変革著しいIT分野の先端技術動向と社会へのインパクトや最先端IT利活用事例等を紹介し、京都府民、中小企業の情報化促進に対する啓発になれば、と考えるものです。

【目的】

京都府民への先端情報通信技術及び関連情報の紹介を目的とします。

【事業】

オープン・セミナーの開催

【経営委員会・技術委員会】

京都府民への先端情報通信技術動向の紹介を目的として、春と秋にオープン・セミナーを開催します。特に10月は経済産業省が推進する情報化月間協賛事業とします。

『ケータイ国際フォーラム』等の公的機関が実施する情報関連事業への協賛

【事業推進委員会】

今年度は京都開催となるので、協会としても積極的に会員企業の出展を促進し、積極的に

連携強化をしていく。

協会としての出展も行ない、府民に対する協会活動をアピールしていく機会として捉える。

新春セミナーの開催

【地域情報委員会】

今年度は「・・・・・・・・・・・・・・・・」について専門家をお招きして新春セミナーを開催します。(1月開催予定)

医療従事者の情報リテラシーの向上に関する調査

【地域情報委員会】

17年度作成資料にもとづいて、医療従事者医療従事者のリテラシー向上、安心、安全社会を目指して、IT産業、医療機器産業界が社会貢献する。

情報弱者支援

【地域情報委員会】

IT技術を活用して情報弱者(例：高齢者、視聴覚障害者等)への支援をするために、京都産業21と連携実施する。

(3) 府内地域産業の情報化促進事業

【趣旨】

京都府内の産業の再生、活性化を図るためには、IT化は必要不可欠ですが、地域特性(歴史性、風土、地域性等)を生かしながら、IT化を推進していくことこそが、今後の京都地域におけるIT産業集積の拡張と、産業の再生、活性化を促進させるものです。

【目的】

京都における産業構造を分析し、産・官・学のネットワークを構築し、京都の地域特性を鑑み、京都産業がどのように再生・活性化するかを探ることを目的とします。

【事業】

産学公連携

京都産業21・京都府中小企業支援センター・大学との連携 【地域情報化委員会】

京都府、京都産業21が推し進められている「京都に試作産業を創る」活動に関して、京情協の設立目的にも合致、17年度は事業推進委員会が仕組み作りに関わりました。これを継承して18年度は産学公連携「京都試作プラットフォーム」事業のクラスター作りにも協力と同時に事業への参画、行政への協力と同時に参画企業のメリットも享受できるものとします。

京情協の会員が保持されている得意分野や大学のもっているシーズ、ニーズを府内の企業が活用すれば該当企業にとって有効となるようなものをセミナーやメディアを活用して紹介します。

官(行政、行政関連団体)との連携

【地域情報化委員会】

京都府においてはデジタル疎水ネットワーク、京都市では京都ONE構想等でインフラ部分は出来ておりますが、利活用に関してはこれからの部分が存在しております。京都府が進めている「京都府デジタル疎水整備後における今後の整備についての調査研究会」の委員会に17年度に引き続き参画し、地上デジタル放送を利活用した自治体広報や防災実証実験の可能性を検討していきます。地域が活性化する観光分野への取組をはじめとして、京都府、京都市他行政関係の動きを十分研究、京情協の果たすべき役割の有無を見極めて連携していきます。

大学との連携

【地域情報化委員会】

大学との連携もまだ緒についたところで、官における通信インフラの高度化は進められていますが、コンテンツについてはこれからの段階にあります。各大学との連携を通じて、情報インフラの利用面、提供されるべきコンテンツを共同して研究・検討し、地域産業の高度利用の促進に貢献するものです。

2 古川委員長よりの付議事項について

特になし

3 事務局報告・その他(駒井事務局長より)

「平成17年度 第3四半期・収支実績表」に基づき、17年4月～12月の結果報告を行った

各委員会における「平成18年度の事業計画」についての最終案は1月23日までに委員長より事務局長あてメールでご提出して下さい。

全体をまとめ、議案書の形態にして次回「事業推進委員会」において審議いたします。(財)海外技術者研修協会(AOTS)の「フィリピンIT人材育成コース」の対応について前月の事業推進委員会において、事業推進委員会メンバーのご出席をよろしくお願いします。なお、メンバー各社の京情協「会員名簿」の英訳版を作成いたしますのでご了承ください。

日 時：平成18年2月2日(木) 午前10時～午後1時30分頃

場 所：APA HOTEL (アパホテル) 京都駅前 会議室

内 容：「意見交換会」と「昼食懇親」など

来訪者：AOTS受入れのフィリピン研修生 30名程の内、14～5名

AOTS職員2名、通訳など同行。

京情協・出席者：事業推進委員会メンバー。

次回委員会は、委員会後「SE研究会・成果発表会」予定しています。

開催概要は次のとおりです。

日 時	平成18年2月8日 (水) <u>午後4時より</u>
場 所	平安会館 3階 羽衣の間
内 容	「事業推進委員会」 午後4時～午後6時 「SE研究会・成果発表会」午後6時～午後7時 「ご苦労様会&懇談・懇親」午後7時～午後9時前後

以 上